

位、第18回全日本選抜還暦軟式野球大会への出場権を獲得

スターズ全国へ!



還暦野球チーム

川俣シルクスターズ 初めての全国大会へ

川俣シルクスターズは、健康増進と町民の親睦を目的に、平成17年に町民有志で結成された還暦野球チームです。現在は、満59歳以上の選手29名（最高齢者は77歳）で構成されています。

昨年、福島県還暦軟式野球連盟（一部、II部制）のI部リーグで数々の激戦を制し、年間総合成績第4位となったことから、結成以来初めてとなる第18回全日本選抜還暦軟式野球大会への出場が決まりました。

8月19日から行われた北日本大会では、昨年の準優勝チーム相手に5対1と惜しくも1回戦で敗戦となりましたが、全日本選抜還暦軟式野球大会での目標はベスト4。川俣町の名を全国にとどろかせていきます!



▲8月2日には、町と町議会から激励金を交付しました。

高橋 七美さん

Page 4-5



今泉 誠也さん

Page 6-7



佐藤 天さん

Page 8-9



それぞれの道で輝く、川俣町の原石

福島県大会 | 部リーグ年間総合成績第 4

川俣シルク



敬老の日が近いけど、俺たち、いつまでたっても少年だ！

ナ

イスバッティング！

気持ちのいい風が吹くある日曜日の朝、川俣高校のグラウンドには元気な声が響き渡っていた。

力強いピッチングにスイング、打球は勢いよく飛び、それを追う外野の選手。まるで高校野球の一場面を見ているようだった。

川俣シルクスターズの選手は毎週水曜日と日曜日、朝5時から川俣高校で練習に励んでいる。ある選手は「朝からの練習だけど、

みんな練習を楽しみにしている。ワイワイやってると、まるで自分たちが子どもの頃に戻ったような感覚になる」と話す。

今回、全国大会に出場する川俣シルクスターズだが、結成した当時は福島県II部リーグで、なかなか勝てない苦難の時期もあったそうだ。I部リーグに昇格したのは4年前で、その後は、3年連続北日本大会に出場するなど、その

実力を遺憾なく発揮している。I部リーグでも、上位は選手層が厚い市のチームが占めており、厳しい戦いを強いられているが川俣シルクス

ターズは、限られたメンバーでも最大限の力を発揮し、負けられない戦いを勝ち抜いている。

監督の渡辺安治さん（右写真下段左から4番目）は「なかなか若い（60歳代前半）選手に入ってもらえなくて苦労している部分はある。I部リーグでは下位3チームが否応なしでII部リーグに

降格してしまい、北日本大会や全国大会などへの参加ができなくなってしまう。選手の楽しみや、やりがいのためにも、これからはなんとかI部リーグで結果を残していきたい。そのためにも、若い世代に還暦野球の魅力を伝え、一人でも多く一緒に

プレーできる選手を確保することが大切だと感じている。満59歳になって、これからは生涯、野球を続けていきたいという方は、自分の健康のためにも、川俣町のためにも、ぜひ川俣シルクスターズと一緒に野球をしよう」と話す。

大きな声を出し合って、少年のように白球を追う大先輩のみなさんの姿をじっと見ていると、「いつまでたっても高校球児」「人生まだまだこれから」そんな声が聞こえてきそうだ。川俣シルクスターズの選手は、今日も変わらず、朝から元気いっぱい練習に励んでいる。